

こうとうくきょういくいいんかいしゅうぞうしりょう  
江東区教育委員会収蔵資料

しょうどくせっけん  
アルボース消毒石鹼

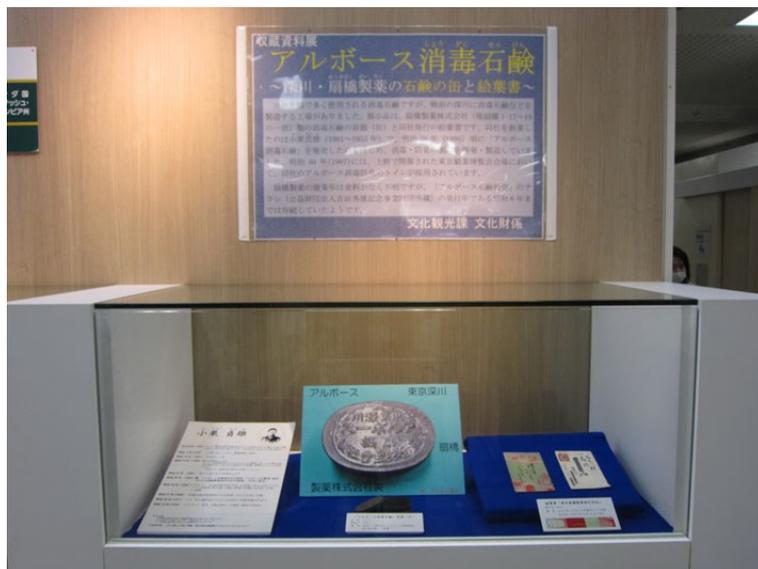
ふかがわ おうぎばしせいやく えはがき しょうどくせっけん  
～深川・扇橋製薬の絵葉書と消毒石鹼の容器～

せんぜん 戦前の深川区東扇橋町5番地(現扇橋1-17～19の一部)には、消毒石鹼などを製造・販売する扇橋製薬

株式会社がありました。同社は明治29年(1896)に小栗貞雄(1861～1935年)が創業し、「アルボース消毒石鹼」をはじめ、消毒・防臭の製品を開発・製造していました。

展示品は、扇橋製薬製の消毒石鹼の容器(缶)と同社発行の絵葉書です。いずれも“東京(深川)”とあることから、大正12年(1923)9月の関東大震災により、会社が大阪に移転する前のものであることが分かります。

※令和3年9月 一部訂正しました



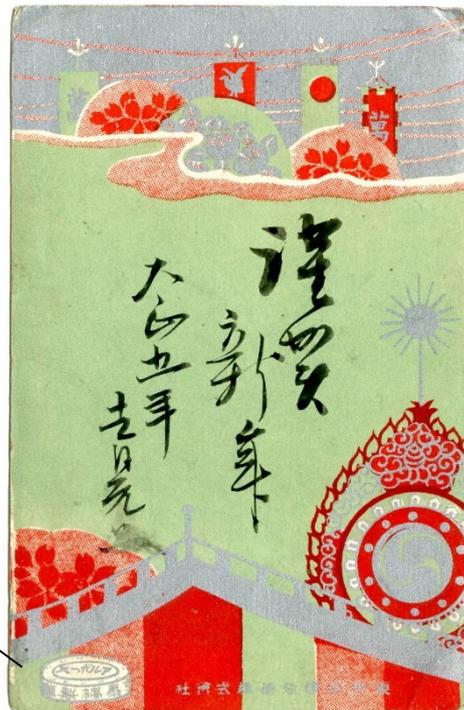
展示風景



## 「アルボース消毒石鹼」容器（缶）

製造年：不明（明治29年～大正12年頃）

規格：長径 6.8×短径 4.7×高 1.9 cm ※いずれも内寸



## 絵葉書「東京扇橋製薬株式会社」

発行元：同上

規格：タテ 14.1×ヨコ 9.2cm

備考：大正5年（1916）の年賀状として使用

宛名面に大正14年12月31日の消印あり

# おぐり 小栗 貞雄 さだお



文久元年（1861） 11月28日

ぶんご さいき

豊後国佐伯藩（現在の大分県佐伯市）の藩士矢野光儀（1822～80年）の第4子として生まれる。長兄は文雄（龍溪）。

明治3年（1870） 光儀とともに上京し、慶應義塾に進学

明治14年（1881） 改進黨に入党

明治19年（1886） 報知新聞社に入社

明治20年（1887） 春 大隈重信などのすすめにより幕臣であった小栗上野介忠順（1827～68年）の娘国子と結婚。同年12月に小

明治29年（1896） アルボース消毒薬を自ら発明し、その製造・発売元となる扇橋製薬株式会社を創業し、社長に就任。

明治31年（1898） 衆議院議員総選挙に大分県第二区から出馬し当選

大正元年（1912） 9月 雑司ヶ谷霊園内に「小栗家累代之墓」を建立

昭和10年（1935） 3月16日 逝去

## 参考文献

『衆議院議員列伝』（衆議院議員列伝発行所、明治34年）

『大分県人士録』（大分県人士録発行所、大正3年）

『人事興信録（第4版）』（人事興信所、大正4年）

※肖像写真：『大分県人士録』掲載（国立国会図書館デジタルコレクションより）